

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,921	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		1,921	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量	1,882	t-CO ₂	1,880	t-CO ₂	1,921	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			0.1	%	▲ 2.1	%		%		%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度			
原単位当たりの 排 出 量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位当たりの みなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和5年度に比べ、令和6年度は高級処理水量が、約9.5%増加しているため、電気使用量の増加につながったと考える。
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理（エネルギー使用量等の把握及び管理）	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量の把握、計測、記録、分析 設備運転管理方法を文書化（管理標準） 主要設備等点検、記録、検査措置の記録、管理 	継続する	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の環境会議にて使用量等の報告、分析を実施した。 点検、整備記録の報告を定期的実施した。
省エネルギー・省資源の推進（ポンプ設備）	<ul style="list-style-type: none"> 汚水ポンプVWVFや余剰汚泥ポンプの更新にて省エネルギー型の機器を導入 	継続する	<ul style="list-style-type: none"> 各機器更新時をとらえて実施予定
省エネルギー・省資源の推進（冷暖房）	<ul style="list-style-type: none"> 中間期等は積極的に外気を導入 フィルタ清掃の定期的な実施 冷暖房区画の限定及びロスナイ換気の使用 	継続する	<ul style="list-style-type: none"> 中間期は、換気用に窓を開けるなどして、自然風を利用した換気等を実施した。 フィルター清掃を定期的実施。 気温に合わせ、空調機の運転台数制御の実施及びロスナイ換気の実施。
省エネルギー・省資源の推進（照明）	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みや残業時に不必要な照明を消灯 LED器具への更新 	更なる徹底を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みの事務所消灯を実施した。 事務室へのLED照明導入
省エネルギー・省資源の推進（OA機器）	<ul style="list-style-type: none"> 離席時はスリープ機能を活用 退社時や外出時は可能な限りパソコンや事務用機器の主電源を切る 	更なる徹底を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 退社時の見回り項目に事務機器の電源確認の記載および電源OFFの実施。 パソコンのスリープモードを活用するなど不要な電力の削減を実施。
工場等の稼働における対策（水処理）	<ul style="list-style-type: none"> 水質の状況に応じて細かくDO値を設定 	継続する	<ul style="list-style-type: none"> 水質の定期的な監視及び状況に応じたDO値設定指示の実施。

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標	
	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度				(2030年度)	
使用電気全体に占める非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
kl	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 6 年度）における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

コピー用紙使用量の削減
電子共有フォルダの利用
環境ラベル商品等の購入、使用の推進
グリーン購入の推進

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

故障対応等緊急の業務があった場合を除き、定時退庁を実現できている。